

2019年度 学習院中等科【算数】大問5

太郎と次郎は黒い石と白い石をそれぞれ何個かずつ持っています。
2人の持っている石の合計数が等しいとき、次の問いに答えなさい。

(1)

太郎が持っている黒い石の半分を次郎にあげました。
その後、次郎が持っている黒い石の半分を太郎にあげました。
その結果、太郎の持っている黒い石は次郎の持っている黒い石より4個多くなりました。
太郎がはじめに持っていた黒い石は何個であったか答えなさい。

(2)

太郎が持っている白い石のうち5個を次郎にあげました。
その後、次郎が持っている白い石の4分の1を太郎にあげました。
その結果、太郎の持っている白い石ははじめより2個少なくなりました。
次郎がはじめに持っていた白い石は何個であったか答えなさい。

(3)

太郎がはじめに持っていた白い石と次郎がはじめに持っていた黒い石の和は27個でした。
太郎がはじめに持っていた白い石は何個であったか答えなさい。

